

# 平成29年2月実施 健康保険委員アンケート集計結果

## 健康保険委員アンケート（概要）

### 【対象者】

福井支部健康保険委員 1,988名（実施当時）

### 【実施方法】

平成29年2月17日（金）発送の健康保健委員だよりと同封。返信用封筒にて返送いただく。

### 【実施期間】

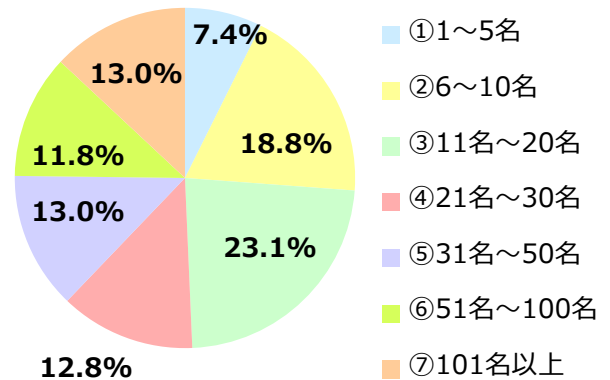
平成29年2月17日～平成29年3月17日

### 【アンケートの内容について】

健康保険委員の皆様に対し、福井支部の健康経営普及事業（ふくい健康経営プロジェクト）の認知度等や、事業所様における健康や働き方への意識について聴取し、現状の把握と今後のコラボヘルス事業へ活用することを目的として実施。

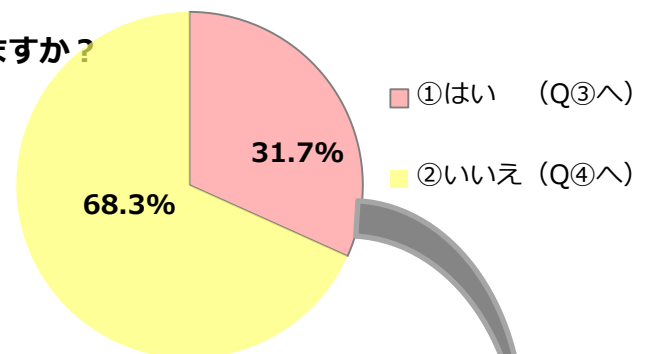
Q1. 事業所の従業員数（協会けんぽ未加入者も含む）についてお答えください。

	回答数	割合
①1～5名	75	7.4%
②6～10名	192	18.8%
③11名～20名	236	23.1%
④21名～30名	131	12.8%
⑤31名～50名	133	13.0%
⑥51名～100名	120	11.8%
⑦101名以上	133	13.0%
合計	1020	—



Q2. 「健康経営」という言葉を耳にしたことはありますか？

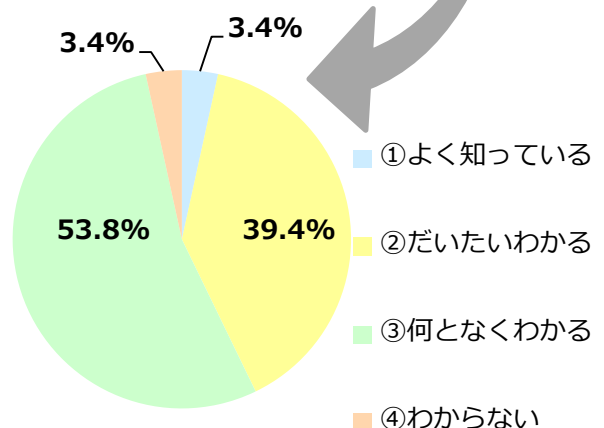
	回答数	割合
①はい (Q3へ)	322	31.7%
②いいえ (Q4へ)	693	68.3%
合計	1015	—



(上記Q2で「①はい」と回答された方)

Q3. 「健康経営」の意味・内容をご存じですか？

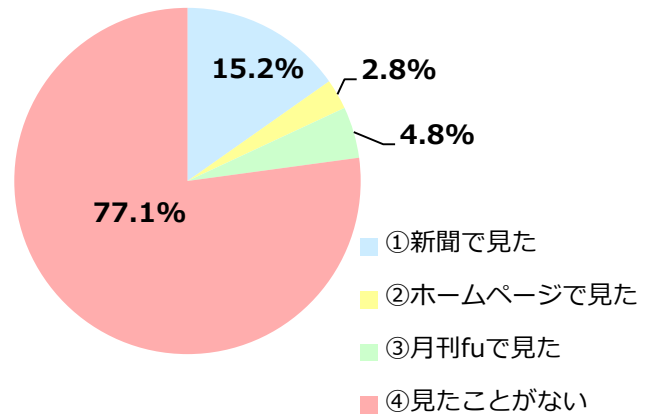
	回答数	割合
①よく知っている	11	3.4%
②だいたいわかる	126	39.4%
③何となくわかる	172	53.8%
④わからない	11	3.4%
合計	320	—



## 健康保険委員アンケート 集計結果 (2/6)

Q4. 平成28年7月から平成29年2月の間、福井新聞紙面において「ふくい健康経営プロジェクト」と題して健康づくりに関するシリーズ記事を掲載してきましたが、ご覧いただいたことはありますか？

	回答数	割合
①新聞で見た	156	15.2%
②ホームページで見た	29	2.8%
③月刊fuで見た	49	4.8%
④見たことがない	790	77.1%
合計	1024	-



(上記Q5で「①~③」と回答された方)

Q5. ご覧いただいた感想をお聞かせください。(抜粋)

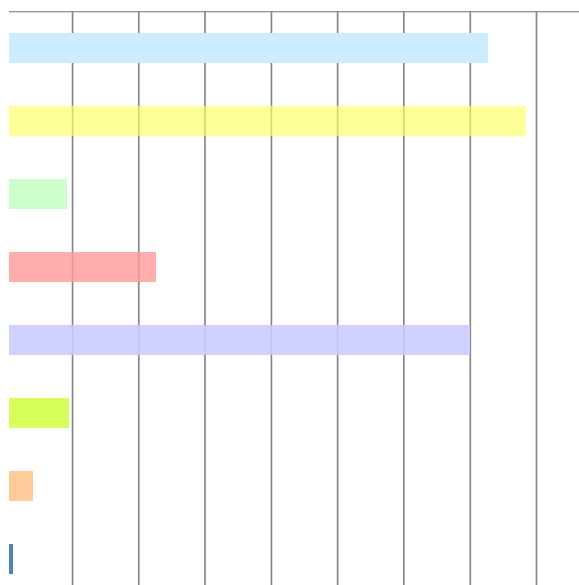
2025年には5人に1人が75才以上になるので、定年に関する規定を考えなければならない
新たな人材が入らないので、現在いる人が健康で活躍できるように、個人だけでなく、企業も意識しないといけないことだと思った。従業員へおしつけでなく、一緒に取り組むことが大事であると思った。
いい事だなあと思う反面、本人(各自)のやる気の問題なのでどうかな・・・とふみだす勇気がありません
以前から言われていた事ではあったが、こんなに大きい政策として動いている事に驚いた。
会社全体の取り組みに刺激されました
各企業の取組みが掲載されているので、具体例がわかりやすくいいと思います
各自がもっと自分の健康について関心を持って欲しいです。どうしても、目先の事にとらわれがちですが、病気や体調不良になってからの対策ではないものにしたいです。
体が資本ですから会社一丸となって、健康作りに力を入れるべきだと思う
考えてみれば、本当にその通りであり、当社でも前向きに実践していきたいと思った。
企業を存続していくために、社員の健康は第一に重要な事、そのため、出来る事から実行に移そうと思っています。
協会けんぽ福井支部のHPでは見つけやすく、読みやすかった。ただ、全国版協会けんぽには関係記事が無く、各県単位でのみの活動かと思ってしまう。全国健康保険協会のHPにも、枠を設けて全国的な活動と協力していく方が、より大きい力となると思います。
共感しました。会社が社員の健康のあとおしができる事は素晴らしい事だと思います。残業ゼロ、労災ゼロにもつながると思うので「健康経営」を早速始めたいと思います
経営者の経営理念にどこまで浸透するかは今後の課題となると思います
経営的な視点から社員の健康管理を実践することは良いですね
健康維持の大切さが実感できる内容で、今後も様々な情報を発信して欲しい。
健康管理の基本は本人の自覚問題だと思います。しかし、1日の内1/3の時間を会社に費やしているから、健康を損なわない環境を作る点においては協力・助言・実践するの必要を感じます。
健康管理の必要性を改めて考えなければいけないと感じ、人口減少の現在、人材確保が難しい中堅的従業員の体調管理に着目し取組まなければいけない。
健康に対する意識向上 →医療費が安くなる →健康保険料も下がるといいなと思いました。
健康に対する考え方がよくわかり、見習うべき事がたくさんあると思う
健康について、一人一人の意識が高まったと改めて感じました

## 健康保険委員アンケート 集計結果 (3/6) つづきです

<p>こういう記事を目にすることによって改めて、健康に関する関心が高まる人が増えると思い、とても良いことだと思います これからは、社員の健康管理も会社を経営していく上で必要になってきたのだと感じました。</p> <p>参考になります。今後も継続していただければと思います</p> <p>自社も何かしなくては！と思ったのでよく目にするようになってそういう意識が高まり、結果となると思うのでPR大事です 実際6名の職場で、2人同時にインフルエンザが出た時は、仕事全体において会社として大変でした。少人数1人欠けても、大変なので早めの処置対応を心がけています。また、健診後のフォロー体重管理には気をつけています。</p> <p>◎もっとカンタンな体操等自己チェック方法などを入れては？</p> <p>地元新聞でシリーズで取り上げてあり、感心をもって読んだ</p> <p>社員の健康が会社の健康ととらえていることがすごい</p> <p>社員の健康は、会社の経営にもつながっているという部分で、社員1人1人の健康状態をもっと会社側が知らなければ ならないと感じた</p> <p>社会全体で取り組むべき大切な課題だと思います。それにはまず、すべての企業が健康経営に関心を持ち、共に取組んで いけたら個人も企業も社会もどんどん元気になると思います。まずは関心を持った企業をどんどん応援していただき たいです。記事わかりやすくして良いですね。</p> <p>昇給等、物的な福利厚生充実も大切だが、社員が心身共に健康であって企業も業績を上げ、社員も生活の充実や心身 の安定をはかれるため、車の両輪として本当に社員を心身、財ともにバックアップしていくことが必要だと感じます そうだろうと思っていたことが、「やっぱりそうだ！」に変わった。家庭内であっても同じだから。家庭で考えていく ことだと思います、子供達と話をしました。人間教育だと思います。ありがたかったです。ヒントを与え自分で考えるよう にしています</p> <p>とても参考になり毎回楽しみにしております</p> <p>とても良い企画だと思いますが、我社では実践が難しいと思いました</p> <p>内容・レイアウトともに、とても読みやすく理解しやすいと思いました。「思わず読んでしまう」ような！</p> <p>内容は良いと思ったが、文字の大きさが小さ過ぎたと思う。(少し読みづらい)</p> <p>なるほど道理にかなっていると思った</p> <p>みだしに注目して、何んか興味をもち読みました。関心はありますが、どうしたら・・・と</p> <p>文字が多すぎて読む気にならなかった</p> <p>良くできた紙面だった。協会けんぽとコラボヘルス等を取組んでおり、健康経営に活かしたい</p>
---

### Q6. 経済情勢等、様々な時事問題について、どのような媒体から情報収集していますか？ (複数回答可)

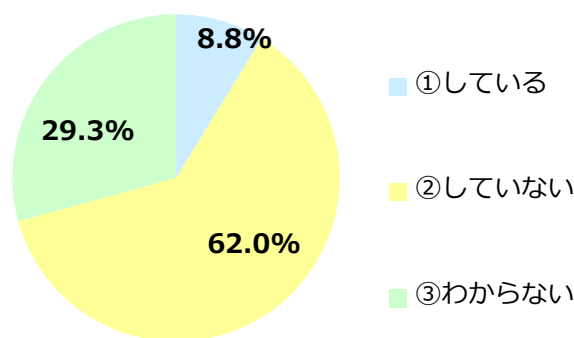
	回答数	割合
①新聞	743	27.2%
②テレビ	802	29.3%
③ラジオ	94	3.4%
④広報誌	230	8.4%
⑤インターネット	717	26.2%
⑥SNS	97	3.5%
⑦メルマガ	41	1.5%
⑧その他	10	0.4%



【⑧その他】・専門誌 ・情報交換 等

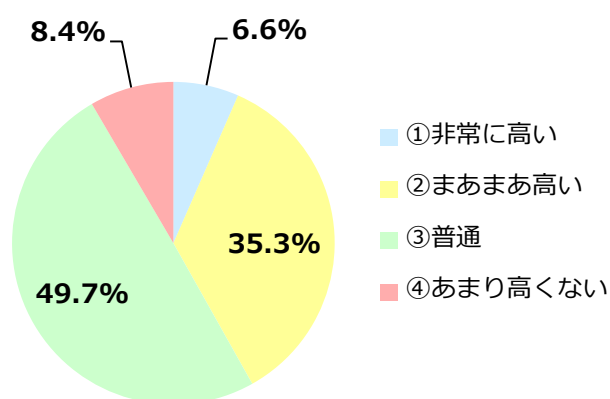
Q7. 貴事業所様は、協会けんぽ福井支部の「健康づくり宣言」をしていますか？

	回答数	割合
①している	89	8.8%
②していない	629	62.0%
③わからない	297	29.3%
合計	1015	-



Q8. 健康に対して、事業所様や管理職の方の関心は高いと思いますか？

	回答数	割合
①非常に高い	67	6.6%
②まあまあ高い	360	35.3%
③普通	507	49.7%
④あまり高くない	86	8.4%
合計	1020	-



Q9. 近年、ブラック企業と相対する「ホワイト企業」や「働き方改革」等、従業員の健康度向上に向けた動きが見受けられますが、事業所にて気をつけていることや行っていることはありますか？ また、今後改善したいことなどはありますか？（些細なことでも構いません。）

【事業所にて実施していること】

残業・休日出勤の削減、削減への対策	198件
健康診断の実施（補助、受診の徹底 等）	162件
従業員への健康面に配慮した声掛け・コミュニケーション	84件
毎朝のラジオ体操・体操の実施	52件
有給取得の促進	49件
運動・ウォーキングなどの実施や推奨	32件
喫煙・分煙・禁煙対策	30件
メンタルヘルス対策	25件
二次検査・再検査の勧奨やフォロー（声掛け、受診の徹底 等）	22件
安心して働ける職場環境づくり	17件
インフルエンザ予防接種の実施・補助	15件
食事指導や食生活にかかる研修会の実施	15件
感染予防、うがい・手洗いの励行	13件
人員の確保	8件
血圧計の設置	6件

## 健康保険委員アンケート 集計結果 (5/6) つづきです

特になし	6件
特定保健指導（協会けんぽ）の利用	4件
福利厚生充実	4件
コンプライアンスの遵守	4件
職場環境の整備（湿度や換気への対策等）	4件
スポーツジム・フィットネスクラブ法人カードの活用	3件
各自が健康管理している	3件
健康に関する研修会の開催	3件
熱中症対策	2件
健康に関するチラシやポスターの掲示	2件
業務に対するモチベーションUP施策(表彰制度の拡充、社員旅行の復活等)	
毎月安全衛生会議を開催し、その中で産業医からの意見を伝えている	
子育てサポート	
健康経営を今期の会社のスローガンにした	
35歳以下による若手の会を結成。清掃活動等の地域ボランティアの実施	
健診結果を考え、みんなで話し合う	

### 【今後改善したいこと】

残業削減、勤務体制の見直し	13件
健康意識の向上・改善	13件
禁煙対策	13件
運動不足解消、運動行事の企画	10件
健診後のフォロー（再検査や特定保健指導）	8件
従業員の健康管理について	7件
より働きやすい職場環境づくり	7件
ラジオ体操の実施	5件
健康診断の確実な実施	5件
有給取得の促進	4件
人間ドックなど健診内容の充実	4件
ストレス対策、相談体制の構築	4件
人員の確保	4件
がん検診の実施、内容充実	3件
休憩時間の確保	
従業員同士の親睦	
従業員の待遇改善	
感染症予防	
スポーツジムの利用	
家族への健康サポート	
協会けんぽの「健康づくり宣言」検討	



Q10. 少子高齢化が進んでいますが、貴事業所様でも実感していることはありますか？（複数回答可）

	回答数	割合
①募集しても若者の応募がない	456	28.0%
②平均年齢があがっている	713	43.8%
③疲弊している人が増えた	98	6.0%
④社内コミュニケーションが活発でない	122	7.5%
⑤持病を持ちながら働いている人が増えた	166	10.2%
⑥休職している人がいる（増えた）	28	1.7%
⑦その他	45	2.8%

【⑦その他】（抜粋）

- ・若者の勤続年数が短く、若者の人材確保が困難
- ・親の介護により、休みや遅刻早退が増えた
- ・独身者が増加傾向にある
- ・再雇用者が増加している
- ・現在のところ実感なし

Q11. 「ホワイト企業」や「働き方改革」、「少子高齢化対策」のために希望することがあればご記入ください。（関係機関には、協会けんぽより情報提供いたします）

○協会けんぽにしてほしいこと（抜粋）

<p>我社は健診もしていますし、その後のフォローについても、融通がききますが、トップの理解がなく健診もままならないという会社もあるかと思しますので、トップ=社長・工場長・所長といった方の理解を得られる体制づくり。健康づくりに対して危機感を持っていただく方法。</p>		
<p>メタボだけでなくロコモティブ症候群に対するセミナーや啓蒙も行ってほしいです。(今から実践できることを周知したいです。)</p>		
<p>ホワイト企業や働き方改革についての講習会などを開いてほしい、取組事例の紹介</p>		
<p>福井は、女性の仕事を持つ方が多いので、身体・心の面について女性の講習会等があれば受講したいです。</p>		
<p>付加健診5年毎ぐらいにしてほしい（40.45.50.55才等）</p>		
<p>ひとつひとつの事業に取組み、成果があげられるよう指導やアイデアなど面談(担当者と)して頂きたい。取組んでいる事業所に対して、助成金制度を充実させていただきたい。成果を上げた事業所様の体験を聞ける場を設けてほしい</p>		
<p>年齢が若い扶養家族であっても、どこでも補助を受けた金額で健診が簡単な手続きで受診できると良いと思います。</p>		
<p>年に一度でも協会けんぽの事、体の事など楽しい話を聞きたい。</p>		
<p>入社された方の保険証をなるべく早く会社か本人に届くようにしてほしい。</p>		
<p>セミナーや会議などではなく、生活習慣病予防のかんたん運動や指導、食事のレシピや試食会など、気軽に参加できるイベントがあると良いと思います。</p>		
<p>社内に於ける健康教室、フィットネスクラブ（法人）への助成金</p>		
<p>健診をもっと会社負担金なく、受診できればよいと思う</p>		
<p>健診申込みの仕方を簡単にできる様にしてほしいです</p>		
<p>医療費の負担がこれ以上、上がらないようにしてほしい</p>		
健診の申し込み方法が難しい	健康づくり・メンタルヘルスの講座	他事業所でのいい取組事例の紹介
保険料を安くしてほしい	若者の保険料率軽減	保険料を下げること



### 【「健康経営」の認知度について】 (Q2.3参照)

- 「健康経営」という言葉を聞いたことがある方は31.7%と、まだまだ認知度は低く、発信力向上が必要な結果となりました。
- ただし、聞いたことがある方の96.1%が「何となくわかる」以上の回答であり、関心の高い方への認知度は非常に高い結果となりました。

### 【「ふくい健康経営プロジェクト」シリーズ記事の発信について】 (Q4.6参照)

- 8カ月間にわたり、シリーズ記事を掲載しましたが、8割弱の方が「見たことがない」という結果となりました。
- 新聞での掲載ほか、協会けんぽホームページ、広報誌(月刊fu)の媒体にて発信を行い、情報収集の媒体上位2つ(新聞、インターネット)を活用しましたが、今一つの効果となりました。
- 加入者の皆様のニーズに寄り添った情報発信について、更に尽力して参りたいと存じます。

### 【「ふくい健康経営プロジェクト」シリーズ記事をご覧になられた方のご感想】 (Q5参照)

- 実際、事業所にて取組むには課題があったり、ハードルが高いといった印象があるようですが、「健康経営」という考え方については、前向きなご意見が大多数を占めました。
- 記事の内容につきましては、わかりやすい内容となっていたなど、大変ありがたいお言葉をいただきました。ありがとうございます。  
また、ご指摘いただいた貴重なご意見は、今後の広報に活かして参ります。

### 【事業所にて実感する「少子高齢化」について】 (Q10参照)

- 何らかの影響を受けていると答えた方のうち、「若者の応募がない」と、「平均年齢があがっている」の内容で7割程度を占めており、福井支部内の事業所様においてはこの2点の傾向が強いといえます。

### 【協会けんぽに希望すること】 (Q11参照)

#### 協会けんぽにしてほしいこと

- 「保険料率」、「医療費」、「健診(費用)」について関心が高いことが伺えました。金銭的な負担上昇を抑制するためにも、医療費の適正化につながる事業に更なる努力をして参りますので、ご理解ご協力をお願いいたします。
- 健康づくりを推進するうえで、研修会やセミナー等の開催の声もありました。ご要望にお応えできるよう、内容の充実した研修会を開催して参ります。

この度は、アンケート回答にご協力くださりまして、まことにありがとうございました。いただいた全てのご意見につきまして、真摯に受け止め、引き続き加入者の皆さまの健康づくり等に努めて参りますので、よろしく願いいたします。